

- ④ 共通科目群の科目は各自の問題意識と関心に基づいて適宜選択すればよい。ただし、開講年次が指定されているので（授業科目表を見ること）、できるだけその配当年次で履修すること。

(2) 専門科目群の履修について

- ① 専門科目群の科目は、専門共通基礎Ⅰ、専門共通基礎Ⅱ、専門科目、隣接科目、強化指定クラブ所属学生対象科目、留学生対象科目および認定科目に区分されている。
- ② 本学を卒業するためには、専門共通基礎Ⅰから8単位以上、専門共通基礎Ⅱから12単位以上、専門科目から24単位以上、合計60単位以上を修得しなければならない。
- ③ 「インターンシップⅠ」（2単位）、「インターンシップⅡ」（2単位）及び「インターンシップⅢ」（1単位）はいずれか1科目を2年次以降に修得しなければならない。いずれの科目も、「市民生活とキャリア形成」を含む30単位以上を修得後、その履修が可能となる。「インターンシップⅠ」は2週間、「インターンシップⅢ」は1週間、原則として夏休みに受け入れ先機関において勤務の実習をするものである。「インターンシップⅡ」は、有償型のインターンシップで、履修方法については4月開催のインターンシップ・ガイダンスに出席し確認すること。

なお、2年次開講の「ビジネス模擬体験」は社会人基礎力を育成する研修科目であり、3年次開講の「キャリア支援講座Ⅱ」はSPⅠ試験の対策科目である。これらは、他の関連科目の履修状況とは関係なく履修できるので、就職希望者には積極的な履修を勧める。また、3年次開講の「キャリア支援講座Ⅰ」は就職活動のための準備科目で、必ず履修しなければならない。

- ④ 認定科目とは、講義や演習によらず、一定の検定試験に合格することを条件に、単位取得が認められる科目のことである。対象となる検定試験、認定される科目名および単位数は、次の通りである。

- ・日商簿記検定3級以上合格者：「簿記検定Ⅰ（2単位）」（必修）
- ・日商簿記検定2級以上合格者：「簿記検定Ⅱ（2単位）」

なお、認定手続きは各期の申請期間中に合格証書を教務担当に提出し、認定を受ける。

(3) 演習群の履修について

- ① 演習群の科目は、自ら考え、判断し、意見を発表する能力を身につけるとともに、学生と教員との触れあいを密接にすることを主旨にして設けられている。
- ② 演習群の科目は、「基礎演習ⅠA・ⅠB」、「基礎演習ⅡA・ⅡB」、「専門演習ⅠA・ⅠB」、「専門演習ⅡA・ⅡB」、「卒業論文」から構成され、すべて必修である。
- ③ 「基礎演習ⅠA・ⅠB」は、学問の基礎を修得するための科目であり、1年次に履修する。
- ④ 「基礎演習ⅡA・ⅡB」は、学問の基礎をさらに充実させるとともに、専門演習への橋渡しをするための科目であり、2年次に履修する。